

<b>取扱説明書</b>		図番	0221K-01B
品名	FX-5L	CAD	PC-01/D/0200
対応ケーブル	5C-FL・5C-HFL・S-5C-HFL・指定3重シールド	発行年月日	2004年10月28日

① 準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイフ（カッター）</li> <li>・ニッパー</li> <li>・挿入治具 T-FX-5</li> <li>・スパナ（口幅 14mm）</li> <li>・トルクレンチ</li> </ul> <p>14×7.85N・m(80Kg/cm) 13×1.96N・m(20Kg/cm)</p>	<p>コネクタ構造図</p>
---------	--	----------------

	アルミラミネートシールドケーブル	指定3重シールドケーブル
② 組立作業	<p>1. コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</p> <p>2. ケーブルの外被と外部導体(アルミ箔)をナイフで30mm切り取ります。</p> <p>注意：絶縁体に深い傷を付けないようにして下さい。</p> <p>3. 絶縁体を軽く揺すり、絶縁体と外部導体の間に隙間を作りフェルールを入れやすくします。</p> <p>4. 専用工具(T-FX-5)にフェルールをセットします。</p> <p>5. フェルールを絶縁体と外部導体の間に挿入します。 注意：ケーブルの外被にフェルールのツバが密着するまで挿入してください。</p> <p>6. ナイフでケーブルの絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。 注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断</p> <p>7. T-FX-5の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)</p> <p>※ニッパーにて切断する</p> <p>8. ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</p> <p>9. 締付金具をスパナで固定し、7.85N・m(80kg・cm)のトルクレンチで本体を確実に締付けます。</p>	<p>1. コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</p> <p>2. ケーブルの外被と外側のアルミ箔をナイフで30mm切り取ります。</p> <p>注意：編組に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>3. ケーブルの編組を折り返します。</p> <p>4. 専用工具(T-FX-5)にフェルールをセットします。</p> <p>5. フェルールをアルミ箔と編組の間に挿入します。 注意：折り返した編組にフェルールのツバが密着するまで挿入してください。</p> <p>6. ケーブル編組の折り返し部分を切断します。</p> <p>7. ナイフでケーブルのアルミ箔と絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。 注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断</p> <p>※アルミ箔</p> <p>※折り返した編組</p> <p>※編組を切断(フェルールの近くで切断)</p> <p>8. T-FX-5の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)</p> <p>※ニッパーにて切断する</p> <p>9. ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</p> <p>10. 締付金具をスパナで固定し、7.85N・m(80kg・cm)のトルクレンチで本体を確実に締付けます。</p>

③ 取付	<p>※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><b>標準締付トルク：1.96N・m(20Kg/cm)</b></p>	<p>機器側 F-J</p>
---------	--	----------------